

# 貧酸素水塊速報 (2022年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 東京都環境局  
 (国)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和4年8月31日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部に分布していました。(図1)。8月30日には、28日から続いていた北寄りの風により、市川航路から千葉中央港にかけて青潮が発生しましたが、現在は解消した模様です。縦断ラインでは、底層付近に薄く分布し、その規模が6%に縮小しました(図2,3)。

表層水温は24~26℃、底層水温は18~24℃でした。

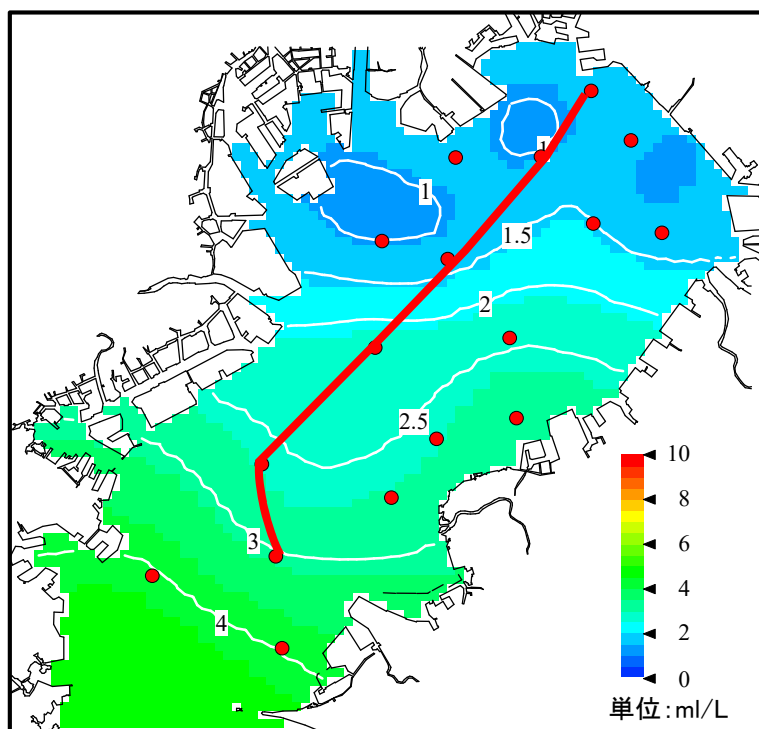


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

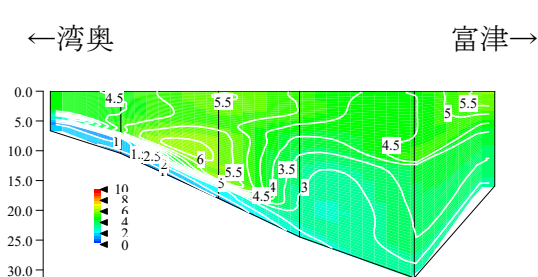


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

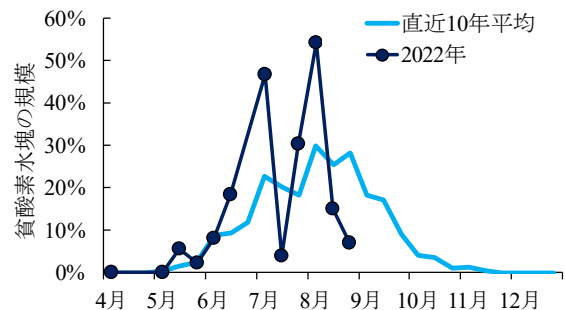


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	